

# 平成25年度 第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年4月19日（金）午後2時～2時50分

場 所：片瀬市民センター第1談話室

出席者：委 員 21名（委員現在数23名。2名欠席）

事務局 6名

## <配布資料>

- 1) 平成25年度第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度委員名簿
- 3) 平成24年度片瀬・江の島まちづくり協議会一般会計収支決算書
- 4) 平成24年度片瀬・江の島まちづくり協議会特別会計収支決算書(地域活動拠点施設)
- 5) 平成24年度片瀬・江の島まちづくり協議会積立金残高
- 6) 監査報告
- 7) 平成25年度部会構成委員（案）
- 8) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度委員(役員)名簿
- 9) 片瀬地区郷土づくり推進会議関係規程集
- 10) 片瀬・江の島まちづくり協議会の今後のあり方に係る検討の総括について(報告書)
- 11) まちづくり通信第七号
- 12) 平成25年度片瀬市民センター職員・公民館運営委員会名簿
- 13) 平成25年度片瀬地区郷土づくり推進会議委員委嘱式(次第)

## 1. 開会

本日の全体会の進行について、役員が確定するまでの間、事務局が仮座長を務めることを出席者に確認し、開会した。

## 2. 報告

### (1) 片瀬・江の島まちづくり協議会のあり方に関する総括について

当協議会がこれまでに進めてきた当協議会のあり方の検討に関する経緯について、資料10に基づき事務局より概要を説明し、まちづくり事業及び部会の整理の方向性について出席者で確認した。

### (2) 平成24年度決算について

資料3、4及び5に基づき事務局より決算内容について説明し、出席者で確認した。

また、資料6に基づき平成24年度片瀬・江の島まちづくり協議会監事の金子皓氏より監査報告があり、出席者で確認した。

## 3. 議題

### (1) 部会の構成員について

先ず、資料2の名簿に基づき、団体選出の委員のうち団体側の役員変更等による新任

委員の紹介を行った。

次に、資料7に基づき事務局より委員の希望部会集約結果を説明し、出席者で意見交換を行った。その結果、公民館活用部会について公募委員の参加要請があり、青木美和子委員，犬山聡彦委員，徳江紀子委員及び若林直美委員の参加表明を受けて、原案にこれを加えた内容で承認された。

なお、新任委員について参加を希望する部会がある場合は、事務局を通じて調整することとした。

## (2) 役員について

平成25年度の役員体制については、本来は委員間の互選によるがそのいとまがないため平成24年度役員会で人選することとしていたので、その結果を資料8の配布により事務局から報告したところ、原案どおり承認された。

会 長	長谷川 紀夫委員
副会長	杉山 義子委員
副会長	鶴見 和則委員
副会長	波多 善子委員
副会長	畠山 義昭委員
副会長	犬山 聡彦委員
副会長	若林 直美委員
監 事	杉下 由輝委員

ここであらためて、長谷川紀夫会長から挨拶をいただき、ここより新会長が全体会の議長に就任した。

## (3) 今後の予定について

### ○委嘱式について

資料13に基づき事務局より委嘱式の流れと役割を説明し、確認した。

### ○今後のスケジュールについて

事務局より次回役員会及び全体会の日程案を説明し、確認した。

## (4) その他

特になし

## 4. その他

特になし

## 5. 閉会

長谷川紀夫会長から閉会挨拶

以 上

## 平成25年度 第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年5月24日（金）午後3時30分～午後5時

場 所：片瀬市民センター第1談話室

出席者：委 員 20名（委員現在数23名。3名欠席）

事務局 6名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度委員名簿
- 3) 平成25年度第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 4) 部会活動写真資料
- 5) 平成25年度片瀬・江の島まちづくり協議会事業計画（案）
- 6) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール検討資料
- 7) 新たな組織の基本的あり方の検討について（討議資料）
- 8) 片瀬・江の島まちづくり活動基金設置等要領（素案）
- 9) 海の家における海岸利用に関するガイドライン
- 10) 藤沢市風致地区条例の制定について(制定方針)
- 11) 藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて
- 12) 平成25年度まちづくり計画実施事業・部会一覧
- 13) まちづくり地区集会開催のお知らせ（回覧案）

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第1回全体会について

4月19日（金）に開催した全体会について、資料2）議事録に基づき事務局より概要の説明があり確認した。

#### (2) 各部会活動について

資料4）部会活動写真資料に基づき、平成24年度末に完成した未報告の成果について事務局より説明があり確認した。上段の写真については、まちづくり推進部会が片瀬3丁目の第222号緑の広場に設置したまちかどミニベンチの状況。中段の写真については、地域資源活用部会が江の島道の整備事業として実施した案内看板の設置状況。下段の写真については、環境美化推進部会が環境浄化事業として実施した壁画の設置状況。壁画は片瀬中学校の美術部により制作していただいたもので、これを江の島弁天橋遊歩道の東浜と西浜に通じる地下道に、落書きをさせない環境づくりのために設置したもの。

また、資料12）平成25年度まちづくり計画実施事業・部会一覧に基づき、事務局より構成メンバーや事業について報告があった。役職が決まった部会もあることから、今後資料に記載していくこととした。

### (3) その他

資料9) 海の家における海岸利用に関するガイドラインについて、事務局より説明があり確認した。これは、海水浴場の近隣の生活環境を守り、誰もが安心して快適に海岸を利用できるよう、海の家を運営する海水浴場組合等が自主ルールを定める際の指針として神奈川県が5月中旬に定め、市町村に通知してきたもの。その内容には、クラブ化の形態による営業を行わないことや地域の実情にあった騒音対策を行うことなども盛り込まれており、昨年12月に片瀬地区自治連、青少協及び当協議会の連名で夏期の片瀬海岸における健全化対策についての要望書を県知事等へ提出し、騒音の無い静かな浜辺への規制の強化や安心して夕涼みできる風紀の確保等を要望してきた経過がある。

## 4. 議題

### (1) まちづくり協議会の今年度の計画及びスケジュール等進め方について

先ず、資料5) 平成25年度片瀬・江の島まちづくり協議会事業計画(案)に基づき、会議や事業の内容について事務局より説明があった。事業のうち、(1) 広報・啓発事業の実施につきましては当協議会全体で対応し、(2) まちづくり活動の推進・支援の災害時危険個所把握事業については、平成24年度から実施している江の島の津波避難路の新設の支援を引き続き行っていくもの。(3) 地域まちづくり計画に基づく実施事業の推進については、記載のとおり各部会・運営委員会で担当事業を検討・実施していくもの。

次に、資料6) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール検討資料に基づき、平成25年度の当協議会の運営及び継続事業について事務局より説明があった。役員会・全体会については必要に応じて開催することを基本とするが、今年度のまちづくり事業の計画について早めに周知していく機会を設ける必要があるとの役員会からの提案があり、7月6日(土)に地区集会の開催することを想定して、その準備を6月に全体会を持って行っていくことについて意見交換を行った。その結果、資料どおり6月21日(金)に第3回全体会を開催し、地区集会に向けた準備をしていくこととなった。

また、地区集会の周知については、6月10日号回覧(6月5日に各自治町内会へ配布)のタイミングに合わせることにし、その内容については、資料13) まちづくり地区集会開催のお知らせ(回覧案)を基に意見交換を行った。その結果、議題を①まちづくり制度の変遷について、及び、②平成25年度まちづくり事業について、の2点とすることとした。その他、案内文の内容についても意見があり、事務局で再度案を作成して、示していくこととした。

### (2) 来年度以降について

資料6) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール検討資料に基づき、まちづくり事業のあり方や組織のあり方についての見直し・検討作業について事務局の説明に基づき意見交換を行った。

先ず、まちづくり事業のあり方については、来年度以降に向けた事業の検討を行うもので、7月17日(水)の役員会及び26日(金)の全体会で議論ができるよう意見を一定集約していくことを想定し、それまでの間に各部会及び各地域団体の中で検討して

いくこととして、新たにチャレンジをしたい課題や事業等について、団体の事業として行うのが良いのか、まちづくり事業として実施した方が良いのかの切り分けをし、その結果について事務局へ7月12日（金）までに寄せることとした。

次に、組織のあり方については、地域団体の活性も含めた議論としていきたいことから、各地域団体の代表と活動を中心的に担っている若手の方の参加と当協議会役員によるワーキンググループを立ち上げて検討していくこととした。対象とする当面の地域団体については、社協、青少協、交対協、防犯協会、青少年支援フォーラム、子ども会連絡会、生環協、老人クラブ連合会とし、今後も調整しながら参加者を選出していただくこととした。1回目のワーキンググループは6月中の開催を目途に、後日事務局より連絡することとした。

(3) 協議会積立金の取り扱いについて

前回全体会の決算報告時に提案したとおり、積立金についての扱いについてルールを決めておく必要があることから、資料8) 片瀬・江の島まちづくり活動基金設置等要領(素案)の制定について事務局の説明にもとづき意見交換を行い、案を承認した。

(4) その他

特になし

5. その他

(1) 藤沢市風致地区条例の制定について

資料 10) 藤沢市風致地区条例の制定について(制定方針)について、担当部署の街なみ景観課より説明があり、質疑応答を行った。

(2) その他

資料 11) 藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて、担当部署より説明及び意見交換の希望があり、次回全体会で場を設けていくこととした。

6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年6月21日（金）午後6時30分～午後8時

場 所：片瀬市民センター第1談話室

出席者：委 員 17名（委員現在数23名。6名欠席）

事務局 8名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成25年度第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 片瀬地区人材・情報バンクセンター2013年度・活動のテーマ
- 4) 平成25年度第1回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成25年度第2回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 6) 片瀬地区ボランティアセンター愛称募集
- 7) 平成25年ボランティアセンター・相談窓口ミニ講座のおしらせ
- 8) 青少年健全育成部会平成25年度第1回部会結果報告
- 9) 平成25年度公民館活用部会報告
- 10) 平成25年度第1回まちづくり推進部会要旨
- 11) 平成25年度第1回郷土文化推進部会議事録
- 12) 平成25年度郷土文化推進部会第1回「江の島道の整備事業」議事録
- 13) まちづくり地区集会開催のお知らせ（回覧）
- 14) まちづくり地区集会開催のお知らせ（ポスター案）
- 15) まちづくり地区集会次第
- 16) 地区集会当日スケジュールと役割分担
- 17) 地区集会会場図
- 18) 組織のあり方ワーキンググループ名簿（2013年6月14日現在）
- 19) 平成25年度第3回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 20) J J B C地域情報の発信イメージ図
- 21) 藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて
- 22) 平成25年度片瀬・江の島まちづくり推進会議部会・運営委員会名簿

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第2回全体会について

5月24日（金）に開催した全体会について、資料2）議事録に基づき事務局より概要の説明があり確認した。

その中で、今年度のまちづくり事業の計画について早めに周知していく機会を設ける必要があることから、今回の全体会において地区集会の7月6日開催に向けた準備をしていくことを再確認した。

また、来年度以降についても、まちづくり事業のあり方については各部会及び地域団  
体で検討して意見を集約し、7月の全体会で議論できるように進めていくことや、組織  
のあり方については、地域団体の活性を含めた議論としていきたいことから、各地域団  
体のメンバーに参加していただくワーキンググループを立ち上げて検討していくことの  
方向性についても再確認した。

## (2) 各部会活動について

資料4)～12)、19) 及び 20) 各部会活動結果報告資料に基づき、各担当事務局より  
説明があり確認した。

公民館活用部会長より補足として、資料9) 公民館活用部会報告の議題1の「事実」  
は「事業」に修正、ワーキンググループを設けた趣旨は、人数多いとまとまらないので  
ワーキンググループを結成したのではなく、会合を重ねて議論をしていきたいので、ま  
ず少人数で下案を練り、まとまった時点で公民館活用部会の中で検討を行うものとの説  
明があった。

また、まちづくり推進部会長より、資料10) まちづくり推進部会のまちかどミニベン  
チ設置事業においてベンチの設置希望箇所についての情報があれば、部会もしくは事務  
局へ連絡いただきたい旨の要請があった。

## (3) その他

特になし

## 4. 議題

### (1) 地区集会の進め方について

資料15) まちづくり地区集会次第、及び、資料16) 地区集会当日スケジュールに基  
づいて、進め方の検討と役割分担の確認を行った。

(1) まちづくり制度の変遷については、市の制度としてどのように変わり、検証検  
討を行ってきたか市民センターが市の立場で説明することとし、(2) まちづくり事業に  
ついては、a. 平成24年度からの変遷と今後について、まちづくり協議会としてどのよ  
うに事業について検討検証して変遷していったか、そして、今後の方向性について協議  
会が説明し、b. 平成25年度事業のアピールポイントでは、特に事業で訴えたいことを  
発表していくこととした。

b. 平成25年度事業のアピールポイントは、アピールすべき点がある部会のみが行い、  
アピールポイント後の質疑応答については時間に限りがあるので、アピール内容の会場  
後方のPRコーナーへの展示やチラシの配布などの対応を、各発表部会で検討すること  
とした。

また、地区集会の広報については、資料14) まちづくり地区集会開催のお知らせ(ポ  
スター案)を利用して、各自治町内会へ掲示板等への掲示・周知を依頼していくことと  
し、事前に市民センター前に「立て看板」を設置して周知していくこととした。

### (2) まちづくり事業及び組織のあり方について

組織のあり方については、各地域団体からのワーキンググループへのメンバーの推薦がまだ出揃っていない状況（資料 18）ワーキンググループ名簿は、2013年6月14日時点のメンバー）なので、改めて事務局から報告することとした。

また、ワーキングの進め方についての議論が十分できていないので、まちづくり協議会内で事前の検討会を持ち、7月の役員会までに、人材・情報バンクセンター運営委員会及び役員会の参加やワーキングの位置づけ（まちづくり協議会直下か、総務・調整部会として行うか）も検討していくことを確認した。

### （3） その他

片瀬・江の島まちづくり活動基金へ100円以上を募金された方に対し「片瀬の自然」冊子を提供する提案があり、主旨了承となった。なお、領収証の発行等事務的、手続き的な点は、今後検討することとした。

また、まちづくり通信について8月上旬発行の提案があり、地区集会で発表した内容の掲載など記事の検討をしていくこととした。

## 5. その他

### （1） 藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて

資料 21) 藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて、担当部署の都市計画課より説明があり、質疑応答を行った。

## 6. 閉会

以 上



# 平成25年度 第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年7月26日（金）午後2時30分～午後4時30分

場 所：片瀬市民センター第1談話室

出席者：委 員 18名（委員現在数23名。5名欠席）

事務局 6名

## <配布資料>

- 1) 平成25年度第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 青少年健全育成部会平成25年度第2回部会結果報告
- 4) 平成25年度第3回公民館活用部会報告
- 5) 平成25年度第2回まちづくり推進部会要旨
- 6) まちづくり地区集会結果概要
- 7) 平成25年度第1回まちづくり地区集会参加者アンケート結果
- 8) 片瀬・江の島まちづくり協議会組織のあり方ワーキング企画案
- 9) 片瀬・江の島まちづくり協議会組織のあり方ワーキンググループ名簿
- 10) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信(案)第8号 Ver.01
- 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信(案)第8号 Ver.02
- 12) 平成25年度郷土文化推進部会第2回「江の島道の整備事業」議事録
- 13) 平成25年度第1回まちづくり地区集会議事録

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 報告

### (1) 平成25年度第3回全体会について

6月21日（金）に開催した全体会について、資料2）議事録に基づき事務局より概要の説明があり確認した。

### (2) 各部会活動について

資料3）～5）、及び12）各部会活動結果報告資料に基づき、各担当事務局より説明があり確認した。

なお、資料12）平成25年度郷土文化推進部会第2回「江の島道の整備事業」議事録の「当整備事業の考え」の記載について、一部、郷土歴史課の説明と相違している点があったので、センター向かいにある道標を綺麗にしていく内容に議事録を訂正したいとのコメントが、江の島道の整備事業リーダーからあった。

### (3) その他

特になし

#### 4. 議題

##### (1) 地区集会の振り返りについて

資料6)～7)、及び13)に基づき、事務局より地区集会の結果について説明した。

資料13)平成25年度第1回まちづくり地区集会議事録の取扱いは、検討の結果、発言者へ氏名記載の可否について確認していくこととし、もし全発言者に確認できないまたは承諾を得られないようであれば発言者全部の氏名は非表示扱いとし、片瀬地区ポータルサイト及び市ホームページ、並びに片瀬市民センターで閲覧できるようにしていくことで決定した。また、発言した委員も内容を確認し、訂正等あれば8月2日(金)までに事務局へ連絡することとした。

また、今後の地区集会のあり方について議論を行い、各委員の主な意見としては、

- ・ 意見に対する対応について、その後の動向等の情報提供をしてほしいという声があるが、提供することで参加者の増加につながるだろうか。
- ・ こういう意見があり、今こうなっていますと報告することを積み重ねていくことが、少しずつでも解決していけるという期待を持ってもらえるのではないか。
- ・ 地区集会でいただいた意見・提案に対して、回覧で報告してはどうか。
- ・ 開催回覧も見ていない人が多いので、周知の方法をもっと工夫したい。
- ・ 議論に理念概論が多いので、もっと具体的に身近な内容を議論できる集会に。
- ・ 参加を促すために、町内会が核になって、例えば班長等に声かけの協力をしてもらえるとありがたい。
- ・ 自分の町内のことなら参加したくなると思う。
- ・ いじめなど身近な話題も取り入れてはどうか。
- ・ 地区集会までの期間がいつも短いので、準備を早く始めた方がよい。各部会もいつでも発表できるように考えておくことも必要。いかに興味を持ってもらうか。事業もすごい結果が出るものばかりではない。
- ・ 集会は発表が目的ではないが、それでも全体の時間が足りない。
- ・ 集会のもうひとつ重要な要素は、住民からの意見を吸い上げる場であること。
- ・ 特定の人の意見にならないようにし、新しい人の意見も聞けるようにしたい。
- ・ 発言しづらい雰囲気もあるので、グループごとのフリートークにするなど分科会的にすることで、楽に発言できる場にしたい。
- ・ 地区集会当日だけでは理解されにくいので、事前に資料提供することも必要ではないか。予備知識を持って参加してもらうことで充実できる。自治会経由でポスティングするなど配布・回覧方法に工夫が必要。

などが挙げられた。

##### (2) まちづくり事業及び組織のあり方について

組織のあり方の検討については、資料9)片瀬・江の島まちづくり協議会組織のあり方ワーキンググループ名簿の人員でワーキングを行うことと、このワーキングは、総務・調整部会扱いではなく、まちづくり協議会に直接位置付けることで確認した。また、検討の進め方については、資料8)片瀬・江の島まちづくり協議会組織のあり方ワーキング企画案の内容で行うことで、確認し決定した。

まちづくり事業のあり方は、7月12日（金）までに各部会で集約意見の予定であったが、再度、各部会での集約意見や提案を、また、委員個人での意見・提案も含め、8月9日（金）までに事務局へ連絡することとした。

(3) まちづくり通信の発行について

資料 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信(案)第8号 Ver.02 について事務局より説明があった。この内容（第二校）について追加・修正等がある場合は、7月29日（月）までに事務局まで連絡し、修正した第三校を7月31日（水）までに各委員へ配布後、さらに修正等があれば8月2日（金）17時までに事務局へ連絡することとした。印刷・仕分けは8月3日（土）片瀬市民センターしおさいコーナーで行い、8月5日（月）午前に各戸配布することとした。

(4) その他

ふれあいまつりへの出展は、しおさいコーナーにまちづくり協議会のPRコーナーを設置することとした。PRしたいことがあれば事務局へ相談し、単独で部会や事業で展示等の希望がある場合は、本日中に連絡することとした。

片瀬の自然冊子の扱いについては、第4回役員会において検討を行ったが、結論がでていないので、もう1度整理することとした。

第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会で藤沢市交通マスタープラン策定に向けた取組みについて説明及び質疑応答を行った際に、サーフボードを積んだ自転車の走行の規制、江の島大橋の自転車通行の規制の解除、生活道路における交通規制についての警察の見解が、担当部署を通じて情報提供があったので、事務局より説明した。（サーフボードを積んだ自転車の走行の規制については、自転車が軽車両であることから道路交通法施行細則にて積荷の扱いとなり厳密に規制をかけることができず、具体的に危険な場所があれば警察官が直接指導していく。江の島大橋の自転車通行の規制の解除については、秋には規制を解除される見込み。生活道路の規制については、地域の総意であれば一方通行の規制をかけることも可能だが、一度規制をかけると改めて解除することは困難であるとのこと。）

5. その他

特になし

6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年8月21日（水）午後3時30分～午後4時30分

場 所：片瀬しおさいセンター トレーニングルーム

出席者：委 員 20名（委員現在数23名。3名欠席）

事務局 5名

傍聴者：1名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成25年度第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度第4回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成25年度第5回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 青少年ボランティア活動支援事業 ※報告
- 6) 平成25年度第3回まちづくり推進部会要旨
- 7) 組織のあり方ワーキング第1回会議議事録
- 8) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール
- 9) まちづくり事業のあり方について（部会・委員提案状況）
- 10) 平成25年度まちづくり事業の方向性と地域まちづくり計画との関係一覧

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第4回全体会について

7月26日（金）に開催した全体会について、資料2）議事録に基づき事務局より概要の説明があり確認した。

#### (2) 各部会活動について

資料2）～6）各部会活動結果報告資料に基づき、各担当事務局及び部会長等より概要の報告があり確認した。

#### (3) その他

特になし。

### 4. 議題

#### (1) まちづくり事業及び組織のあり方について

部会及び委員から出されたまちづくり事業の提案について、資料9）まちづくり事業のあり方について（部会・委員提案状況）に基づき事務局より説明があり、扱いについて検討した。平成26年度以降のまちづくり事業にどのように位置づけ

をしていくかについては、役員会で案を作成し、次回の全体会で検討していくこととなった。

平成24年度末に整理した平成25年度まちづくり事業の方向性については、資料10)平成25年度まちづくり事業の方向性と地域まちづくり計画との関係一覧に基づき事務局より概要の説明があり、内容について再度確認した。これらの事業を平成26年度以降どのように整理し位置づけていくかについては、部会・委員提案と同様に9月の役員会で検討し素案を作成のうえ、次回の全体会で審議していくこととなった。

また、平成25年度は継続課題扱いとしている現まちづくり事業について、平成26年度以降の扱いを検討する必要があることから、委員から意見があれば8月中旬に事務局へ連絡することとなった。

なお、ワーキンググループで検討を行っている組織のあり方・課題については、資料7)組織のあり方ワーキング第1回会議に基づき犬山副会長より概要の報告があった。今後のワーキング会議での検討の結果については、9月の全体会で総括して報告する予定。

#### (2) 今後の協議会活動の進め方について

資料8)片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュールに基づき事務局より説明があった。特に、市が検討している新たな市政運営の総合的な指針については、案の説明と意見交換を9月の全体会に併せて行うこととなった。

また、今後の予定として、来年度以降のまちづくり事業については、9～10月に協議会として検討・決定し、11月16日に地区集会を開催して発表・意見交換することとし、委員構成については、公募を入れていくのであれば、募集等の手続きを年末から年明けにかけて行う必要があることも確認した。

#### (3) その他

片瀬ふれあいまつりへの出展は、市民センター1階しおさいコーナーにまちづくり協議会のPRコーナーをパネル2枚分のスペースで設置していくこととなった。部会活動や事業活動等のアピールしたい内容があれば、事務局と相談していくこととした。

#### 5. その他

特になし。

#### 6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年9月20日（金）午後7時40分～午後9時25分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 17名（委員現在数23名。6名欠席）

事務局 6名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成25年度第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 青少年育成部会平成25年度第3回部会結果報告
- 4) まちづくり協議会公民館活用部会ワーキンググループまとめ
- 5) 平成25年度第2回まちづくり地区集会企画案（検討用たたき台）
- 6) 平成25年度第2回まちづくり地区集会開催のお知らせ（回覧案）
- 7) 郷土文化推進部会第3回「江の島道の整備事業」議事録
- 8) 片瀬餅つき唄&片瀬こま体験会（回覧案）
- 9) 片瀬地区郷土づくり推進会議組織のあり方について（総括）
- 10) 平成26年度以降のまちづくり事業あり方検討資料
- 11) 第36回片瀬地区ふれあいまつりパネル数と搬入搬出日程

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第5回全体会について

資料2)に基づき事務局より説明し、内容を確認した。以下、主な点。

- ・平成26年度以降の事業への位置づけについて、部会及び委員から提案された新規事業等案の扱い、並びに、平成24年度末に整理した方向性に基づいた現25年度事業の扱いについての役員会案を第6回全体会で提案し検討することとした。
- ・組織のあり方については、ワーキング会議の意見を踏まえたうえで役員会案を作成し、同様に第6回全体会で提案し検討することとした。
- ・また、今年度継続課題扱いとした事業の位置づけについては、ご意見があれば8月中に事務局へ出すこととした。
- ・以上の事業及び組織のあり方について、11月の地区集会までにまちづくり協議会としてまとめ、地区全体で意見交換をしていくこととした。

#### (2) 各部会活動について

資料3)～4)及び7)に基づき、事務局及び部会長等より報告した。また、まちづくり推進部会長より、まちかどミニベンチ設置の作業をお手伝いいただける方の情報提供についての依頼あり。

- (3) その他  
特になし。

#### 4. 議題

- (1) まちづくり事業及び組織のあり方について

ワーキング会議の結果概要について、資料9)に基づき犬山副会長より説明した。

委員からは、資料中の1.(1)「ア 団体の参加」について、「郷土づくり推進会議には、団体の代表が参加する」の記述について、役職上の代表ではなく、団体から選出された者とすべき意見があり、「郷土づくり推進会議には、団体選出者が参加する」と修正することとなった。

また、「イ 公募による参加」の地域枠については、各自治町内会からの参加という発想からのものであったが規模が大きくなってしまふことや自治連との関係は整理する必要があることから、各自治町内会長等との意見交換ができる集会等の場を充実し、関心を持って参加してもらふ工夫を前提に考えていくことが現実的であることと、一方では、公募の要素としてあるいは団体委員も含めた、ある程度の地域性のバランスは考慮する必要があるのではという意見が挙げられた。

これらの意見を踏まえ、今後の役員会で基本ラインを決め、選考要領や定員のたたき台を全体会へ示していくこととした。

次に、資料10)を事務局より説明し、まちづくり事業のあり方について検討した結果、今後の進め方としては、次回10月の全体会で再度検討し意見を反映させたいうで、その案を地区集会で示していき、広く意見を求めていくこととなった。

また、資料は、片瀬地域の活動として必要とするものを載せて、まち協として課題にするもの、地域団体として課題にするものがわかるように作ることとした。

なお、「より身近な高齢者相談窓口検討課題」、「地域の居場所あり方検討課題」、「ごみの持ち帰り・ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題」、「高齢者等移動手段検討課題」の4点については担い手や担当部会が決まっていないので、役員会で整理することとした。

- (2) 地区集会について

地区集会の進め方、及びチラシの回覧について、資料5)及び6)を事務局より説明した。回覧については、10月18日午前の配布に乗せることとし、回覧後に全体会が開催されることから、回覧の内容については役員会一任となった。

進め方については、次回の全体会で検討し、各地域団体で話したい事項があれば、次回の全体会でリストアップすることとした。また、各委員の主な意見としては、  
・語り合いましょう！とあるが、議題を見る限り、語り合う場がないのでは。

- ・意見交換できることもはっきり記載してはどうか。
- ・説明は全体で行い、意見交換は10グループほどにわけ、各委員が1グループにつき2人ずつ入る形にしてはどうか。

などが挙げられた。

(3) その他

資料 11) に基づき、片瀬ふれあいまつりへの出展スペース及びパネル数、出展準備・片づけのお手伝い依頼について、事務局より説明した。

5. その他

今後の日程について確認。

6. 閉会

以 上



## 平成25年度 第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年10月18日（金）午後6時30分～午後8時20分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 19名（委員現在数23名。4名欠席）

事務局 4名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度第7回人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成25年度第4回まちづくり推進部会要旨
- 5) 平成25年度第5回まちづくり推進部会要旨
- 6) 第2回郷土文化推進部会議事録
- 7) 「新たな市政運営の総合的な指針」案の説明及び意見交換会議事録
- 8) 平成25年度第3回公民館活用部会報告
- 9) 青少年健全育成部会平成25年度第4回部会結果報告
- 10) 郷土文化推進部会第4回「江の島道の整備事業」議事録
- 11) 片瀬・江の島まちづくり協議会「組織のあり方の方針」案
- 12) 平成26年度以降のまちづくり事業のあり方検討資料
- 13) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール
- 13) 片瀬・江の島まちづくり地区集会開催のお知らせ（各戸配布チラシ）
- 14) 片瀬・江の島地域の課題とまちづくり事業のあり方検討資料
- 15) 地域福祉に係わる地域課題の取り扱いについて（案）

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第6回全体会について

資料2)に基づき、本日検討する内容を確認した。

- ・ 組織のあり方については方針案を示し議論を行う。
- ・ まちづくり事業のあり方検討資料で担当が決められていない部会について意見をいただく。

- ・ 地区集会のお知らせ回覧も10月の役員会で一任のため第7回の全体会で説明し、進め方について検討を行う。

#### (2) 各部会活動について

資料に基づき報告した。なお、事前配布資料のうち、第9回人材・情報バンクセンター運営委員会要旨については誤記のため全部削除（後日正しいものを提出予定）、平成25年度第4回公民館活用部会報告については資料8）と差し替えた。

#### (3) 「新たな市政運営の総合的な指針」案の説明及び意見交換会について

資料7）に基づき報告。案に対する委員の意見については、12月中旬までに事務局か直接企画政策課へ寄せることで再度確認した。

### 4. 議題

#### (1) まちづくり事業及び組織のあり方について

- ・ まちづくり事業について

資料12）に基づき検討した。

福祉分野の活動目的のひとつ「高齢者、障がい者、低所得者、児童等の福祉活動による地域福祉の推進」について、担い手と位置付けている民生委員は障がい者への関わりが薄いのではとの意見があった。検討した結果、障がい者も含めた地域福祉の研究はしているが、表現として「高齢者、児童等の」とし、等に含んだ形とすることとした。

地域広報事業の担当部会である役員会（編集会議）の活動については、まちづくり通信の発行やポータルサイトの更新であり、全体会で内容の確認は行うものの役員会が主で行っていくことで確認した。

地域活動の主な担い手の地域ケア会議について、資料15）に基づき確認した。

総務・調整部会について、現在、新たな課題等が出てきた場合に取り扱う窓口として位置付けているが、委員の他に課題関係者等をメンバーに入れたワーキング会議を設置し検討することも想定し、部会としてどのような位置付けにするか今後検討を続けることとした。

また、地域として、課題を見つけて行政に伝えることもあれば、まち協や地域でその対策を行うこともあるので、今出されている地域課題のテーマをどのように進めていくかを議論していくことが必要であるという意見も挙げられた。

- ・ 組織のあり方について

資料11）に基づき、2. 委員、3. スケジュールについて意見交換をした。また、資料13）でスケジュールについて確認した。

スケジュールについては、3月初旬までに地域団体の選出委員を決めることとした。但し、役員改選が4月以降の団体については、委員として選出する人を代理とするか、そのままとするかは各団体にお任せすることとした。

公募の人数や再任等の詳細については、今後詰めていく必要があることを確認し、方針案については役員会で検討し、地区集会で示していくこととした。

(2) 地区集会について

地区集会のチラシ（資料13）について確認した。役員会で検討した結果、第1部第2部の時間記載を外し、各戸配布とした。

次に、片瀬・江の島地域の課題とまちづくり事業のあり方検討資料（資料14）について、まちづくり事業と地域課題も含めたつくりとし、委員意見について事務局まで連絡することとした。

集会の進め方については、役員会で検討することとし、委員の意見について役員会までに連絡することとした。

(3) その他

特になし。

5. その他

今後の日程について確認。

6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年11月22日（金）午後2時～午後3時35分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 14名（委員現在数23名。9名欠席）

事務局 5名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度第2回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会会議録
- 4) 組織のあり方ワーキング会議（臨時）議事録
- 5) まちづくり地区集会の実施状況写真レポート
- 6) 平成25年度第2回まちづくり地区集会参加者アンケート結果
- 7) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール
- 8) タウンニュース・郷土づくり推進会議リレーインタビュー（2013年11月22日号）
- 9) 平成25年度第9回人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 10) 平成25年度第6回まちづくり推進部会要旨
- 11) 平成25年度第4回公民館活用部会報告
- 12) 青少年健全育成部会平成25年度第5回部会結果報告

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第7回全体会について

資料2)に基づき、前回の会議内容の確認を行った。

#### (2) 各部会活動について

各部会資料に基づき、報告を行った。

まちづくり推進部会からは、自治連を通してお願いしている生活道路の安全向上対策「連絡用紙」の返信期限を11月末としており、まだ返信のない自治町内会への呼びかけを行っていくことの説明があった。

人材・情報バンクセンター運営委員会からは、3月1日（土）の10時からボランティア・マネジメント講演会の開催を予定していることの説明と参加の呼びかけがあった。回覧による案内・周知は1月に行う予定。

第5回江の島道の整備事業については、口頭で進捗状況の報告・説明があった。

### （3）その他

10月8日に開催した組織のあり方ワーキング会議の臨時会議については、前回の全体会において口頭では報告済みではあるが、議事録を作成したので配布し、内容の確認を行った。

資料8）タウンニュースの郷土づくり推進会議リレーインタビューについては、タウンニュース社が各地区の郷土づくり推進会議の活動について順次取材しているもので、このたび片瀬地区の順番となり会長が取材を受け、資料のとおり記事が掲載されたことを紹介した。

## 4. 議題

議事の進め方について、議論を深めるため、先に（2）の地区集会の振り返りを行ってから、（1）まちづくり事業及び組織のあり方についての検討を行っていくことで確認した。

### （2）地区集会について

資料5、6）に基づきアンケート結果を説明し、集会の内容としては、第1部で片瀬山の廃屋等の地域課題について意見を挙げていただいたこと、第2部でも様々な地域課題についての意見交換ができたことを報告した。なお、議事録は現在作成中であり、できしだい内容を再度確認していくこととした。

委員からの主な意見は次のとおり。

- ・今回は集会開催案内を各戸配布としたが、読む人が少なかったのか。少しでも多くの方が参加してもらえる方法を考える必要がある。
- ・各戸配布で案内しても限界がある。関心がないから出席者が増えないのでは。
- ・自治町内会長にもなるべく出てもらいたいが、参加率は多くない。
- ・地域全体への課題には関心があまりないのではないか。
- ・組織の役割はとっつきにくい。第1部の政策の内容も難しかった。
- ・前回の集会の参加者にとっては、同じ内容と思い、参加しなかったのかも。
- ・第1部の市担当者に聞いたところ、他地区の参加状況は10名のところもあれば100名参加のところもあったとのこと。その違いは、100名参加の地区は市民センターの建て替え等の課題でテーマが明確であり、10名参加の地区は具体的な地域の課題・テーマが無かった。テーマを明確にして課題点を提示していく

ことで参加者が増えるのではないか。また、意見は言いつばなしではなく、回答できるようにしていきたい。

- ・地区集会の手法として、福祉、青少年というようにテーマを絞り、関係する市の担当部署に来てもらい、意見交換するものよい。テーマごとに開催するのは大変ではあるが、各部会の中で議論しているテーマがあれば行っても良いのでは。
- ・訊きたいことを事前に集め、地区集会で回答やみんなで検討するのもよい。
- ・前回の地区集会で意見が出た、ボランティアセンター入り口において靴脱ぎ等で腰掛けられるベンチについて、設置したところ非常に好評であった。
- ・質問数は少なかったが、廃屋やプレジャーボートなど地元に着した意見が多く出てきたことはよいことだ。参加者からも、今回の地区集会の内容を町内の方に口コミ等でお伝えいただけたらありがたい。

#### (1) まちづくり事業及び組織のあり方について

地域課題については、地区集会でも片瀬山の廃屋問題、深夜に子ども同士でファミレスにいることなどの安全安心対策について、また、市民の家の利用やしおさいセンターの畳の状態など公共施設の活用について等の課題が挙げられ、地域の現状をあらためて確認できた。他の課題についても引き続き掘り起しを行い、2～3月頃にはもう少し深めた議論・検討を行い、整理をしていく方向でいくことを確認した。

組織のあり方については、公募の準備は市側が各地区共通の要領の案を作成しており、それに基づきさらに各地区の特色を生かし再任の回数や構成を加え、要領を作成していく。要領については、12月の役員会で確認し全体会でお示しすることとした。その後、12月中に選考委員会を設置し、1月下旬から公募の募集を行っていくこととなる。

また、公募については基本2期4年であり、人数は団体推薦16名、それに公募7～8名が加わり合計25名弱となり、2年後にも公募し、人の入れ替わりがあるにしても常に30人以内になることを説明した。公募について委員から意見があれば、11月末までに寄せていただくこととした。

選考組織の市の考え方としては、選考委員の委員としては郷土づくり推進会議の代表、センター長、自治連の代表、教育関係有識者、関係する分野の団体（片瀬地区では福祉関係団体を想定）と要領に沿って、人選していくことの説明があった。

各団体において、来年度に代表者の変更を予定している場合、4月開催の全体会等の前任者と新任者の取扱いについては、各地域団体の総会開催時期にかかわらず、団体の意思として4月から新任者が参加できるように組織の確認行為（新任者が総会で誰になるかをあらかじめ確認をする）をしていただきたいことを説明した。な

お、民協の会長については12月1日に新任者となるが、この取り扱いについては事務局に一任とした。

(3) その他

資料7)に基づき、スケジュールについて確認した。

まちづくり通信9号で、集会報告、公募の予告、各団体の活動の進捗を1月10日号(1月5日各戸配布)で行うので、年内に印刷を完了させる予定であり、12月の役員会で内容の検討を行い、全体会で最終確認することとした。

5. その他

・報告事項

今夏、逗子海岸の海の家がひどい状態だったので、本市の西浜海岸の取り組みを参考に、来年に向けた安全で快適な逗子海岸の確保に関する条例改正についての市民集会が11月16日(土)に開かれたことについて、事務局から情報提供があった。

6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第9回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成25年12月20日（金）午後6時30分～午後7時50分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 14名

（委員現在数23名。9名欠席）

事務局 5名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第9回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会次第
- 2) 平成25年度第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度第2回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会会議録
- 4) 平成25年度第7回まちづくり推進部会要旨
- 5) 平成25年度郷土文化推進部会第5回「江の島道の整備事業」議事録
- 6) 平成26年度片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員募集及び選考要領（案）
- 7) 片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員選考基準採点票
- 8) 片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員応募用紙（平成26年度用）
- 9) 片瀬市民センター・公民館各団体関連図、各団体事業一覧表
- 10) 教育文化講演会（回覧チラシ）
- 11) 平成26年度地域活動・地域課題・まちづくり事業一覧
- 12) 片瀬・江の島まちづくり協議会平成25年度スケジュール
- 13) 片瀬・江の島まちづくり協議会まちづくり通信第9号（12/20案）
- 14) 平成25年度第2回まちづくり地区集会議事録

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### （1）平成25年度第8回全体会について

資料2）に基づき、前回の会議内容についての報告を行った。

#### （2）各部会活動について

各部会資料に基づき、各部会より報告を行った。



公民館活用部会からは、資料9)を用いて各団体事業の情報を一元化して共有する必要性について検討していることの報告があり、この資料の各団体相関図の社会体育振興協議会について通称名(片瀬市民スポーツの会)の併記を求める意見が出た。

第10回人材・情報バンクセンター運営委員会については、口頭にて進捗状況の報告・説明があった。

### (3) その他

資料14)第2回地区集会議事録の内容確認の依頼が事務局よりあり、修正点等あれば12月26日(木)までに事務局へ連絡することとした。

資料10)教育文化講演会が1月27日に開催されることについて、事務局より周知と参加の呼びかけがあった。

## 4. 議題

### (1) まちづくり事業及び組織のあり方について

#### ア 公募委員の募集及び選考要領について

事務局より、資料6~8)の説明がされ、選考委員会の委員について、自治町内会連絡協議会代表枠は長谷川会長を充てるため、郷土づくり推進会議代表枠については役員会で調整の結果、鶴見副会長を選出することとしたことの報告があり、確認した。また、福祉分野有識者枠は地区社協に依頼する予定であり、女性の選出について配慮することも事務局より説明があった。

資料7)採点票の内容についてわかりづらいとの意見が出たが、選考委員会で判断基準を確認していくことの説明が事務局よりあった。

#### イ 来年度に向けた地域課題・まちづくり事業及び組織の検討について

資料11)に基づき、事務局より説明があった。他に課題が出てくれば資料に追加していくこともあるが、1月には課題と来年度に向けたまちづくり事業の整理を行う必要があり、資料の内容を確認して課題をどの部会が取り扱うかなどを部会でも議論していくことを確認した。

資料12)でスケジュール感の確認を行い、2月には平成26年度の計画づくり、3月には今年度の総括をまとめていくこととした。

### (2) まちづくり通信について

資料13)に基づき、内容の確認を行った。修正点等ある場合は、12月26日(木)までに事務局へ連絡することとした。「片瀬の自然」冊子については、記事どおり無償配布とすることとした。PDF版をwebで配布する意見もあったが、写真を多用しており容量が大きくなることから、当面は冊子配布のみとすることとした。配布場所は、

片瀬市民センター，片瀬しおさいセンター（片瀬公民館分館），片瀬地区ボランティアセンターにおいて行うこととした。

次のまちづくり通信第十号は、1年間の部会活動等の総括として、3月にカラー版の発行をすることとした。

(3) その他

特になし

5. その他

・報告事項

- ・ 2013年市民が選ぶ藤沢市の10大ニュースのうち片瀬・江の島地域に関するものが、1位、2位、4位、8位にランクインされた。
- ・ 12月19日18時の時点で津波の最大被害予測情報が、中央防災会議の検討結果をふまえて国から発表されており、その中身については今後ご報告することとした。それに伴い、12月26日に開催予定だったハザードマップ説明会は延期となった。
- ・ 西浜公園ワークショップが行われてきたが、結論は先おくりとなった。今年度中に市全体の津波避難計画ができ、来年度から地域ごとの津波避難計画をワークショップ形式で行う予定なので、そこで西浜公園の避難施設の必要性について今までの議論も踏まえて検討を行うこととした。

6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第10回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成26年1月24日（金）午後2時～午後4時5分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 18名（委員現在数23名。欠席5名）

事務局 6名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第10回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第9回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度委員名簿
- 4) 平成25年度第10回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成25年度郷土文化推進部会第6回「江の島道の整備事業」議事録
- 6) 平成25年度第3回郷土文化推進部会議事録
- 7) 市社協ふじさわ<sup>㊟</sup>
- 8) 1月25日号回覧一式
- 9) 片瀬・江の島地域の郷土づくりに参加してみませんか！（チラシとポスター）
- 10) 片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員応募用紙（平成26年度用）
- 11) 平成26年度第1ステージ（第1回地区集会）までのスケジュール・イメージ
- 12) 平成26年度地域活動・地域課題・まちづくり事業一覧（差替版）
- 13) まちづくり通信第10号発行について
- 14) まちづくり通信第9号

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### （1）平成25年度第9回全体会について

資料2）に基づき、前回の会議内容についての確認をした。

#### （2）各部会活動について

各部会資料に基づき、各部会より報告を行った。

第11回人材・情報バンクセンター運営委員会及び第8回まちづくり推進部会については、議事録等資料はなく口頭にて報告があった。

#### （3）各地域団体からの報告（トピック）

- ・（スポーツの会）1月26日に湘南藤沢市民マラソンが開催されるので、ぜひ応援を。また、平成26年度からの市民総合体育大会に替わる大会を検討中。今後やり方を変えて継続していきたい。
- ・（片子連）2月23日にしおさいセンターにて手作りおもちゃのお楽しみ会を行う。3月1日に市育成者集會が行われる。
- ・（社協）12月7日に行われた「うまれる」上映会に午前91名、午後101名の計192名の方が参加。うち夫婦・家族連れは56組、特に30～50代の方が中心。アンケートには好意的な感想が多くあり。今後求められる意見として、子どもと来て楽しめるイベントなどが挙げられていた。ボランティアセンターがその役割を担っていきたい。資料7）の紙面で片瀬地区社協の紹介がされているので、ぜひご覧を。録音奉仕会には、この紙面の録音CDを作成していただいている。また、福祉ボランティアしおさいとの共催により、3月15日午前10時から介護保険の見直しに向けた講演会を市民センターで行うので、ぜひご参加を。
- ・（青少年支援フォーラム）1月30日に片瀬中学校において、地域の人が先生となって1年生が手芸やヨガを学ぶふれあい学習を行う。2月には、片瀬小学校においておかし教室を開催する予定。
- ・（青少協）資料8）2月24日に何でもトークを開催予定。また、3月4日に市民センターにおいて子育て講演会を行う。

以上のとおり、今回の全体会より各地域団体からの報告項目を設けた結果、各団体より様々な情報を寄せていただくことができ、今後のまちづくりを進めるうえでも大変重要な情報交換の場になる印象を共有できた。

また、役員会の提案により、地域回覧したチラシ等資料（回覧物）についても、貴重な地域情報のひとつとして、今回より委員への配布資料に加えた。

#### （4）その他

資料3）名簿に基づき、片瀬・江の島まちづくり協議会委員の変更について、事務局より報告があった。山口絢子元委員（民生委員児童委員協議会前会長）が任期のため12月に民生委員児童委員協議会を退任し、新たに入江美津子委員（民生委員児童委員協議会会長）が片瀬・江の島まちづくり協議会へ団体から選出されたので、山口元委員の残りの任期（平成26年3月末まで）について市から委員に委嘱したものの。

### 4. 議題

#### （1）協議会活動の今後の進め方について

協議会の今後の議論を円滑に進めていくには、スケジュール感についての共通認識を持つ必要があるため、資料11）に基づき確認を行った。（以下説明）

組織的には団体選出委員と公募委員により構成することから、長期的な活動母体イメージとしては、平成26～27年が公募第1期（公募委員若干人＋団体選出委員16人の約20人）、平成28～29年が公募第2期（公募第1期委員の再任＋新規公募委員若干人＋団体選出委員16人の25人前後）というスパンと造りになると想定できる。

公募第1期のスパンから平成26年度の活動をピックアップしていくと、初年度として3つのステージ構成により活動を進めていくイメージを持つ必要がある。第1ステージは、協議会がこれまでに検討してきたまちづくりの活動計画や考え方を地域に認知（オーソライズ）していく期間。第2ステージは、その計画を基にまちづくり活動を進めていく期間。第3ステージは、第2ステージで進めてきた活動を評価し、平成27年度計画に反映させる期間とし、各ステージにおいて各々地区集会を実施して地区住民との意見交換及び地域の課題集約を十分していくことが肝要である。

以上の中長期イメージを持ちながら、今現時点の平成25年度最終ステージから平成26年度第1ステージまでのスケジュールの流れを確認していくこととする。

まず、組織については、平成26年2月末頃までに公募委員の選考がされ確定するとともに各地域団体においては選出委員の内定を行い、2月全体会で概ね方向が決まる部会案を含め、3月の役員会で組織案を作成していくこととなる。これを3月の全体会で確認し、公募第1期協議会の新組織へ引き継いでいくものとする。

次に、事業・課題については、2月の全体会で今年度の総括案と来年度計画案を検討し、3月の全体会において平成25年度総括（報告書）と平成26年度計画案（引継書）をまとめていく。

これらの平成26年度組織案及び計画案の引継書については、4月の新組織の全体会において再度確認したうえで必要に応じて修正を加え、5月の地区集会で発表し意見交換をしながら活動計画を地域へ周知していくこととする。同時に、地区集会は地域課題の集約・把握の機会とし、今後の検討に反映させていく。

広報は、平成25年度活動総括をまちづくり通信第10号で周知し、第11号で平成26年度計画や新組織の概要や地区集会開催の案内を行い、地区集会後の第12号で集会の報告と計画の詳細説明を行うものとする。

## （2）まちづくり事業及び組織のあり方について

資料12)に基づき、まちづくり事業の担当部会については、意見交換の結果、資料記載内容のとおりとし、福祉推進部会の新設については、ボランティアセンター事業だけではなく福祉全般に関わるテーマを幅広く扱う部会としての位置づけで確認した。

また、地域の課題の取り扱いや検討していく方法については、①既存部会で取り扱えるか、または②部会の新設や構成員の補充等見直しでの対応が可能かを各部会で検

討していくことや、③部会化するためのワーキング検討会を設置し整理していく方法が役員会から提案された。意見交換の結果、次のとおりとすることとなった。

- ・資料の地域課題No.1, 2, 8～13については、何らかの対応を考えていきたい。
- ・市へ移行した課題については、担当部会を設けずに協議会として地域課題の認識をしていくこととする。
- ・地域課題No.1の公的資産有効活用課題は、市民の家の個々の利用法等問題やどうしてほしいという地域の要望を取りまとめていく必要がある。ものによっては、行政や指定管理者との話し合いも必要となるので、当面の整理はワーキング検討会形式で行うこととし、参加を希望する委員は事務局まで連絡することとした。
- ・地域課題No.8の廃屋への対応課題は、市の制度設計が必要であり、まずは現行制度についての情報提供を事務局から行っていくこととし、地域としてどのように対応するか検討することとした。
- ・地域課題No.11及びNo.12は、担い手を地域ケア会議へ移行したので、議論状況について事務局から情報提供していくこととした。
- ・地域課題No.14の子どもの見守り課題は、特別街頭指導パトロールでファミレスにも見回るなど市へ働きかけをし、その状況を見ていくこととした。

### (3) まちづくり通信について

資料13)に基づき、まちづくり通信第10号の発行に関して意見交換を行った。内容については、平成25年度の各部会毎のまちづくり事業活動を中心とした活動総括とし、地区集会での意見と対応経過についても記載していくこととした。今回の印刷は、印刷所への外注とし、A4カラー版4ページものとすることで確認した。当面の日程としては、1月31日までに各部会活動の原稿文や写真等の素材を事務局へ提出し、2月全体会で初稿案を配布・校正していくこととした。

### (4) その他

特になし

### 5. その他

特になし

### 6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成26年2月21日（金）午後2時～午後3時50分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 19名（委員現在数23名。4名欠席）

事務局 7名

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第10回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成25年度第11回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 4) 平成25年度第12回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成25年度第3回片瀬地区ボランティアセンター運営委員会会議録
- 6) 青少年健全育成部会平成25年度第6回部会結果報告
- 7) 片瀬だより平成26年度年間の予定
- 8) 平成25年度第8回まちづくり推進部会要旨
- 9) 平成25年度第9回まちづくり推進部会要旨
- 10) 平成25年度第4回郷土文化推進部会議事録
- 11) 片瀬こま保存会メンバー募集案
- 12) 平成26年度地域課題の取り扱いについて
- 13) 片瀬小地域ケア会議生活課題の検討まとめ
- 14) 藤沢市地域ケア会議設置要綱<抜粋>
- 15) 片瀬地区小地域ケア会議の進捗状況
- 16) 片瀬小地域ケア会議資料（生活課題）
- 17) 平成26年度地域活動・地域課題・まちづくり事業一覧
- 18) 藤沢市新総合計画 片瀬地区まちづくり実施計画
- 19) 平成25年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告書（案）
- 20) 平成26年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画案（引き継ぎ書）
- 21) まちづくり通信第10号（初稿版）
- 22) 2月10日号回覧一式
- 23) 2月25日号回覧一式

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

会長から入江美津子委員（民生委員児童委員協議会会長）の紹介があった。

### 3. 報告

(1) 平成25年度第10回全体会について

資料2)に基づき、前回の会議内容についての確認をした。

(2) 各部会からの報告

資料3～11)各部会資料に基づき、各部会より報告を行った。

(3) 各地域団体からの報告(トピック)

- ・(郷土文化推進部会)片瀬こま保存会メンバー募集のため、資料11)を3月10日号で回覧予定であること、まち協の支援もあり体験会が増えてきている報告があった。また、3月1日開催予定の郷土文化講演会について紹介があり、参加の呼びかけがあった。
- ・(社協)2月7日に片瀬小学校で児童交流が行われ、昔の生活や片瀬の紹介を行い、今回は市長も出席された報告があった。障がい福祉についての講座を3回行った。今後は、就労した方の職場を計4回見学する予定。2月20日回覧の「どうなる介護保険」については、録音して後日お伝えすることができないので、3月15日にぜひ参加をとの呼びかけがあった。
- ・(市福祉推進委員)障がいの保護者から交流の場が少ない意見が委員会であげられ、片瀬のボラセンを使用することを勧めた報告があった。
- ・(公運評)公民館事業で障がい者を対象とした事業がない意見があげられたが、需要があるかどうか意見があれば伺いたい依頼があった。
- ・(生環協)3月6日開催予定のさかなの放流及び4月12日開催予定の海岸クリーンキャンペーンへの参加の呼びかけがあった。

(4) その他

まちづくり事業費の来年度予算について、資料18)のとおり議会へ提案して現在審議中である旨事務局から説明があった。26年度示達額0円は、まちづくり協議会としては要求せずに、必要に応じて推進会議費地域活動支援で対応していくもので、環境浄化事業については、26年度は生環協の事業として取り組むのでまちづくり事業には含めないこととした。

#### 4. 議題

(1) まちづくり事業及び組織のあり方について

ア 地域課題の整理

地域活動・まちづくり事業の担当部会を資料17)に基づき確認を行った。地域の課題は、資料12)に基づき確認を行った。地域課題No.3～7及び14は、課題として認識するが、移行した担い手が主体的に行うものとして整理し、当面は部会等での具



体的な取り扱いはしないこととした。地域課題 No. 1 の公的資産有効活用推進課題は、過去の経過を整理し新年度に引き継ぐものとし、引き継ぐための検討会を今年度中に行うために会議終了後に参加者と日程調整することとした。地域課題 No. 8 の廃屋への対応課題は、市でも情報収集をしており、市からの情報提供に合わせ今後の取り組み方を考えていくこととした。地域課題 No. 11 及び 12 は地域ケア会議に移行し、議論状況について事務局から情報提供していくこととし、資料 12～15) で状況について説明した。地域課題 No. 2, 9, 10, 13 は方向性や取り扱い方が決まっておらず、現時点ではどのように対処するか結論は出ていないが、課題として引き継いでいくことについては確認した。

#### イ 今年度総括の検討

資料 19) に基づき意見交換を行った。活動報告書に、平成 23 年度から 3 年計画で策定したまちづくり計画に掲載した目標値と、今年度の実績値を入れ達成率を示していくことで確認した。全体的に、部会において報告書を確認して修正点等ご意見があれば、3 月の役員会前までにご連絡を事務局へ入れることとした。

#### ウ 来年度計画案の検討

資料 20) に基づき意見交換を行った。特に、資料集の地域課題の内容について、修正点等指摘事項があれば、総括同様に事務局へ連絡をいれることとした。

#### (2) まちづくり通信について

資料 21) に基づき、確認を行った。部会で再度確認し、修正点等あれば 3 月 7 日(金)までに事務局へ連絡を入れることとした。

#### (3) その他

特になし

#### 5. その他

2 月 20 日読売新聞朝刊湘南版にプレジャーボート撤去の記事が掲載されていることが委員から紹介があった。

#### 6. 閉会

以 上

## 平成25年度 第12回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録

日 時：平成26年3月20日（木）午後6時30分～午後8時20分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：委 員 18名（委員現在数23名。5名欠席）

事務局 5名

その他 1名（片瀬公民館前場代表）

### <配布資料>

- 1) 平成25年度第12回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議次第
- 2) 平成25年度第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会議事録
- 3) 平成26年度片瀬地区郷土づくり推進会議公募委員選考委員会議事録（概要）
- 4) 平成25年度第13回片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会要旨
- 5) 平成25年度郷土文化推進部会第7回「江の島道の整備事業」議事録
- 6) 平成25年度第10回まちづくり推進部会要旨
- 7) 平成26年度地域課題の取り扱いについて
- 8) 地域広報部会（案）
- 9) 平成26年度部会編成検討資料
- 10) 片瀬だより平成26年度年間の予定
- 11) 平成25年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告書（案）
- 12) 平成26年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動計画案（引き継ぎ書）
- 13) 平成26年度所属部会についての意向調査票
- 14) 3月10日号回覧一式
- 15) 3月25日号回覧一式

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 報告

#### (1) 平成25年度第11回全体会について

資料2)に基づき、前回の全体会会議内容について確認した。

#### (2) 各部会からの報告

資料4～6) 各部会資料に基づき、各部会より報告を行った。

#### (3) 各地域団体からの報告（トピック）

- ・（片子連）資料14) 3月25日号回覧 東り町子ども会の会員募集について
- ・（ボランティアしおさい）社協との共催で3月15日に実施した「どうなる介護保険」講演について（約90名参加）

#### (4) 公募委員選考結果について

資料3)に基づき、選考結果について事務局から説明があった。また、平成25年度公募委員のうち若林副会長、杉下監事及び甘粕委員の3名については、平成26年度公募委員への応募がなかったことから、今年度末の任期終了をもって退任となる旨の報告があった。

(5) その他

特になし。

#### 4. 議題

(1) まちづくり事業及び組織のあり方について

ア 地域課題の整理

資料7)に基づき確認を行った。地域課題No.1の公的資産有効活用推進課題については、引き継ぐための整理検討ワーキングを2月27日に行った結果、市民の家の利便性の向上に課題を絞っていくこととしたい旨の報告があり、この方向での整理でいくことを確認した。また、地域課題No.3～7及び14は、課題として認識するが、移行した先の担い手が主体的に行うものとして整理し、進捗等の把握は必要としていくが、部会等での具体的な取り扱いは当面しない方向で確認した。

イ 今年度総括の検討

資料11)に基づき確認を行った。修正点等ご意見があれば、3月28日(金)までに事務局へ連絡することとした。

ウ 来年度計画案について

部会の編成について、資料9)に基づき意見交換を行った。今年度は役員会・全体会扱いとしてきた広報・IT事業について、平成26年度は地域広報事業として位置づけ、地域広報部会を設置して積極的に推進していく案について、資料8)に基づき犬山副会長より説明・提案があった。併せて、具体的な片瀬地区の地域情報について、資料10)年間の予定表を基に片瀬公民館前場代表より説明をしていただいた。この資料からも、月ごとの予定だけではなく、イベント目的別・世代別等に情報を整理することで、片瀬地区の皆さんによりわかりやすい情報を発信でき、また知りたい情報も収集しやすくなるとともに、藤沢市域全体への情報とも連携推進ができる効果が期待できることから、意見交換・検討の結果、地域広報部会を含めた7つの部会を来年度の組織案として提案・引き継いでいくこととした。また、活動計画案(引き継ぎ書)の確認を資料12)についても検討した結果、平成26年度の体制も会長以外の役員については、各部会の部会長をもって構成していくことで確認した。

(2) その他

今後の手続きについて確認を行った。来年度継続して担っていただける会長、部会長については、平成25年度の体制で引き続き会長及び部会長を継続していただくことを基本とし、平成25年度末で退任する部会長の部会については、事業や活動の継

続性を踏まえて再任・継続する委員の中から事務局が部会長候補案をお示しし、4月7日に予定している準備会において互選という形で決めていくこととした。その基礎資料とするため、再任する委員は資料13)平成26年度所属部会についての意向調査票を3月28日(金)までに事務局へ提出することで確認した。

## 5. その他

今年度最後の全体会の閉会にあたり、各委員から感想等コメントを述べた。

- ・1年が早く、部会の運営で精いっぱいだった面もある。来年度は視野を拡げ、できれば江の島の課題も一緒に考えていけるといい。
- ・公民館の課題をどのように把握し、どこが問題か認識するのが難しかった。
- ・スポーツの課題が出てこなかった。
- ・1年目ということで意見を出しにくかったが、来年度はがんばりたい。
- ・来年度も頑張りたい。
- ・来年度は他の代表が参加する予定。お世話になりました。
- ・なかなか参加できなかった。片瀬のまちをもっと良くしていきたい。
- ・人材・情報バンクセンターがいい形になってきた。また、夏ごろに行った組織のあり方ワーキングが面白かった。
- ・課題の絞りこみができ、片瀬のエッセンスが部会として残っていると思う。
- ・ボランティアセンターが4年を迎え、地域の方にも喜んでもらえている。
- ・大変お世話になりました。形にできたものもありよかった。地域の人を巻き込んで課題をもっと取り組みたかったが、なかなか難しかった。
- ・来年度は他の者が参加する予定。今の協議会は、以前携わっていたまちづくり活動と比べ、大変すばらしい事業を行っていると思う。
- ・地域の課題が地域に浸透しているかが疑問であり課題でもある。
- ・来年度もお世話になります。ありがとうございました。
- ・3年目だがなかなかやりたいことができていなかった。来年度も頑張りたい。
- ・介護保険が利用者の使いやすいものになるよう、一緒に考えることができればと思う。
- ・4年はあっという間。若い世代をまちづくりに引き込むことが課題。  
(会長総括)13地区の中でも胸の張れるまちづくりができています。まだ課題はあるので来年度も取り組んでいきたい。

最後に事務局からも、各委員のこの1年間の活動に対する感謝の言葉と挨拶があった。

## 6. 閉会

以上

## 「新たな市政運営の総合的な指針」案の説明及び意見交換会議事録

日 時：平成25年9月20日（金）午後6時30分～午後7時30分

場 所：片瀬市民センター 第1談話室

出席者：片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議）委員  
17名（委員現在数23名中6名欠席）

市 側 理事者 鈴木市長，石井副市長，藤間副市長，  
企画政策部 竹村部長，市民自治部 金子部長  
企画政策課職員(2名)，市民自治推進課職員(2名) 9名  
事務局 片瀬市民センター職員 6名

### <配布資料>

- 1) 「新たな市政運営の総合的な指針」案の説明及び意見交換会次第
- 2) 総合計画に替わる新たな指針の策定について 資料1
- 3) (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針の構成内容について（二次案） 資料2
- 4) (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針（二次案）議員全員協議会 資料3

### <全体進行及び議事概要>

#### 1. 開会

司会進行 小野センター長

#### 2. 市長・副市長挨拶

市長，両副市長の挨拶に続き、竹村部長及び金子部長から自己紹介

#### 3. 片瀬地区郷土づくり推進会議議長挨拶

長谷川議長挨拶

#### 4. 「新たな市政運営の総合的な指針」の2次案について説明

竹村部長が、資料1)～3)に基づき説明した。

#### 5. 意見交換

「新たな市政運営の総合的な指針」2次案の内容を中心に、次のとおり質疑応答を行った。

Q. 第1章の基本的な考え方については20年先を見据えたものと説明がありましたが、一方では新たな指針は3年間の中で取り組むとの説明もありました。この関係性について、具体的に説明をしていただけますか。

#### A. 竹村部長

まちの目指す姿をイメージするとき、藤沢市としてどんなまちになっていてもらいたい、こういうまちにしたいという20年先を見越した考え方をもち、こ

れに基づいて、3年、次は4年と市長任期に合わせて今やっっていかなければいけない内容を施策として、指針の中で謳っていきたい。今までの総合計画ですと、20年先を目指して実現が難しい事業も計画に含めてきました。そこで、しっかりした20年先を目指しますが、施策については今やらねばならないものを3年間の間で位置づけて、市民の方にも、それを進める職員にも、わかりやすいものにしていきたい。期間は3～4年で切りますが、目指す姿は20年を見据えて事業を展開していくという考え方です。

Q. 指針は3年間経ったあと、以降4年間ごとに指針が定められますが、これによって20年先を見据える基本的な考え方が変わることもありますか。

A. 竹村部長

変わることもあると考えています。

Q. 資料3) (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針 (二次案) の12ページの重点施策 (候補) のNo.6 『市民が実感する市民活動の推進』、No.12 『「学び」を活用した生涯学習の充実』のイメージがわきにくいので、もう少し具体的に説明してください。

A. 金子部長

『市民が実感する市民活動の推進』についてご説明します。市民活動の方は、今、市民活動推進センターに450もの団体が登録し活動しています。市民活動の推進によって、NPO等の団体が様々な活動を行うことで、市民サービスの一部でも向上し、市民が実感できるような市民活動を推進したいということで位置づけています。

Q. 実感するのは、活動をしている方よりもまわりの市民という意味ですか。

A. 金子部長

市民活動を実践する人も実感していただけたらと思いますが、その活動に対して市民も市民活動が活動していることを実感していただくという意味合いです。

A. 竹村部長

『「学び」を活用した生涯学習の充実』については、これまでも生涯学習ではスポーツや文化などを学ぶ機会を提供してきましたが、中でも生涯学習を学ぶ機会はしっかりと提供していかなければいけないという考え方があり、重点施策としては学びを活用して生涯学習の充実を図っていくことが、目指す都市像に近づく、成熟した藤沢市に欠くことのできない課題として、位置づけていくというものです。

Q. 「学び」を活用したの「学び」は特別なものではなく、生涯学習全般を指しているという考え方でいいですか。

A. 竹村部長

はい、そのとおりで結構です。

A. 藤間副市長

補足ですが、生涯学習分野としての文化やスポーツなどの公民館等を利用した学びの部分の要素がありますが、問題意識としてリタイアされた高齢者も増えるということから、いろいろなことにチャレンジしたいという高齢者の方を意識して、様々な学習機会があり、様々な形で参加できて、自らの心の分野での充実感を持っていただくようなまちづくりを進めていくという基本的なコンセプトの中で、特に学びに注目して充実させようと考えています。

Q. 私は地区社体協の副会長もしております。7ページに、スポーツ活動等をさらに盛んにするとありますが、なぜ今年で市民総合体育大会をやめるのですか。せっかく地域が一生懸命努力して選手を出して、市民総合体育大会を50回近くやっています。なぜオープン化するのか、考え直してほしい。財政が厳しいから止めるではなく、スポーツの振興の観点からも続けるべきではないですか。スポーツを通して地域の活性化を図っていくことも大事ではないでしょうか。

A. 鈴木市長

日ごろ地域のスポーツ振興にご尽力いただき、敬意を表します。私も社体協の役員を長年やっておりますが、市民総合体育大会ができた当初と現在と世の中が求めるものが変わってきていると感じています。市民総体の地区対抗という部分については、なかなか地区によっては人を集めるのに苦労していることもあり、オープン競技としていきたいと考えています。総体としては積極的に進めていきますが、社会情勢によって、例えば誰でもいつでも参加できるようにするなど工夫しながら、全体的には活性化させていこうということには変わりありません。

Q. 資料3) (仮称) 新たな市政運営の総合的な指針(二次案)の第2章の重点方針は39出されていますが、これと8つの基本目標との関係性について、また8つの基本目標に対する網羅性、その中での重要性についてあれば教えてください。

A. 竹村部長

市が進めていく上での共通的な事項、踏まえておかなければいけない事項については、基本目標に載せています。基本目標は、市政を運営していく上で事業展開すると必ずあてはまるであるように幅を持たせています。重点施策については、8つの基本目標にあてはまるかというところではなく、39項目を重要度や緊急度、また20年先を見据えたとき、喫緊の課題を見据えたとき、今この3年でなにをやらなくてはならないかを絞って作成しております。つまり、基本目標は絶対的なものがありますが、それに重点施策というものが必ずしもぶらさがってくるという関係性にはないということです。

また、39の項目の取り扱いについてですが、この39の候補は各部が喫緊の課題としてこの3年間で取り組むべきものを集約したものです。元々77挙げられていたものを整理したもので、これから本当に重要度、緊急度を勘案して、3年間に本当にやらなければいけない施策、できる施策なのかということ整理していきます。ですので、ぐっと縮まってきます。そのため、名称が変わったり、重点施策を集約することもありますので、委員の皆様からいただいたご意見や市民の方から意見をいただいたうえで、勘案して絞込みもしくは追加して、しっかりした重点施策に整理、練り固めていきたいというものです。

Q. 重点施策を実際に計画におとすときのプロセスで、施策としての重要度と計画段階での重要度と違うと思うのですが、施策で削られると計画もなくなってしまうのですか。

A. 竹村部長

施策を実際に展開する事業（計画）は、施策が削られてなくなると指針の中には反映はされなくなります。例えば39あるうちの39番目だからそれは落としてしまうとなると、そこについてくるべき事業がその指針の中には表れてこないことになります。ただ、指針そのものは、重点施策をわかりやすく示し、確実に3年で行う事業を挙げていきます。そこに挙げたものしかやらないのかということ当然そうではなく、これまでも総合計画に盛り込まれなくても当たり前のように行った事業はたくさんありますので、総合計画よりももっとメリハリをつけて、3年間で行う事業としてしっかりと施策として位置づけて、市民の皆様にもわかりやすくしないといけない。そこには、指針からは漏れるものがあるわけですが、指針に示されていないからその事業を行わないわけではなく、経常的な一般の事業の中で展開していくというのは当然ありえます。

Q. 例えば、No.34の『都市基盤の老朽化』が重点施策から落ちたとしても、道路を直さないということにはならないということですか。

A. 竹村部長

そのとおりです。ただ、この都市基盤の老朽化は、これからの市にとって重要な課題ですので脈々とやっていきますが、どこまでやっていくのかということがあります。

Q. そういう意味では、すべてが重要な事業に見えてしまうので、計画がなくなってしまうのが、とても心配です。

A. 竹村部長

なくなりません。指針上、なくなるだけです。

Q. 地域の声はどのように吸い上げていくのか、あるいは吸い上げないのか。また、



その結果について、どういう形で知らせていくのか考え方を教えてください。

A. 竹村部長

今現在、総合計画から指針に変えていくうえで、郷土づくり推進会議委員の皆様にもご説明させていただいて、ご意見をいただきます。これ以外にも、市民ワークショップや地区全体集會でご説明をしてご意見をいただく機会を設けていきたいと考えております。また、10月下旬から11月初旬にかけて、もう一度ワークショップをやりますが、その中では、無作為抽出の市民約2,000名に対し満足度調査のアンケートをとり、そのアンケート結果に基づきワークショップを行いながら市民のご意見をいただくといったことを新たな指針の策定の間までに行います。

策定以降は何もしないということではなく、1年ごとに事業状況や進み具合を検証して、郷土づくり会議委員の皆様との意見交換をさせていただきますが、地区全体集會にもぜひ参加させてもらいたいと考えております。満足度調査も策定する前段で今年行いますが、それを毎年行い、指針に位置づけられている施策の展開が本当に功を奏しているのか、皆さんが納得している内容になっているのか把握いたしまして、それを検証して見直しや先の計画策定につなげていきたいと考えております。

Q. 重点施策のNo.18『困難を有する若者の自立』について、普通に若者の就労が難しいことがあると思いますが、困難を有するという表現が気になります。

A. 藤間副市長

今、若者全体の就労状況が、就職が非常に困難な状況になっております。ここでの「困難を有する」については、ひきこもりの方やニートの方で、市内にそれぞれ数千人がいらっしゃる特に困難な状況にあることです。できるだけ社会に出てきていただいて、そのためには就職がひとつのきっかけになると思います。ただ、就職に至るまでは大変なことであると思います。若者全体に困難性があるのですが、これについては通常の業務でも取り組んでおります。その中で、一番深刻な問題を抱えている若者たちを救っていこうということを重点的にやっていくことを考えています。

Q. 就労、結婚の問題、また人口も増えなかつたりと、若者に対する支援をもっとしてほしいと思います。

A. 藤間副市長

今は困難を有する若者としていますが、施策としてこれだけでいいのかと考える必要はあるとは思いますが。

Q. 重点施策のNo.5『地域コミュニティの醸成』とありますが、片瀬地区はボラン

ティアセンターができ、子育てからお年寄りまでとても有効に活用されています。一方、西浜橋、山本橋の向こう側という地の片瀬海岸2丁目では、コミュニティする場所というのが本当に少ない。今唯一、西浜公園にある建物2階の30人ぐらい入れる集会所しかありません。今度、そこが改修されるということで、西浜公園ワークショップを行っています。ワークショップは2回行われているが、その中で防災、公園、交流の場などの点で議論したいが、今は避難タワー等防災一色となり、交流の場としては後回しになっています。これらを一体化した考え方で、進めることはできないのでしょうか。

A. 竹村部長

施設は、まさに今言っていたような様々な要素を含んだものを複合的に作っていくという視点で、これからも議論されていかないといけないと思いますが、西浜公園に特化してお話しますと、公園は法律の制限を受けて、物を建てる事が非常に困難なのです。空地にしておくことが前提なので、防災倉庫ひとつを置くにも大変なことです。そういったことから、今は外に置かれてしまっている感はあるかと思いますが、全体的には様々な住民のニーズに応えた場づくりはしていくべきですし、していけると思います。もうひとつは、公共施設・基盤の老朽化について市の施設も相当古くなってきており、それを建て替えていくのはものすごいお金がかかっていくという時代がきます。そうしますと、新しいものを作るというよりも、建て替えるときをきっかけに様々な複合施設にしながら、管理部門で節約できたりといった形にしていく中で、田村さんのお話は大変重要なことだと思っています。

A. 藤間副市長

都市公園法という法律がありまして、細かく使える面積が決まっているのです。公園のほんの一部しか建物の部分として使えません。例えば、トイレを作ってしまうとそれでお終いであったりという感じなのです。西浜公園は、問題意識としてはやはり防災の観点で避難が難しい地域ですから、そういう意味で高台を作るということで始めた部分もあり、防災の視点は大事なことだと思っています。しかし、貴重なご意見ですので、もう一度可能なものなのか検討させてください。

Q. ニュースで、つくば市の科学研究所と一緒に水害シミュレーションの研究を藤沢市で唯一行っていると見た記憶があります。あと30分降ると浸水してしまう地域もあり、そういう情報があれば早めにいただけると避難の判断になります。もし、そのようなことがあれば、メール等でぜひ情報発信してほしいと思います。

A. 藤間副市長

全市的では無く、特定の地域で行っています。研究結果として、ほぼシミュレーション通りになったことが確認をできたところです。全国的には藤沢が最初で

すが、まだ実用段階には至っておりません。これから市内へ、また全国へどのように展開していくのかも、まだ決まっていません。当面、市としては、貯留管等の他の施策で対応を図っているところですので、よろしくお願いいたします。

## 6. 閉会

以 上